

2019 年度活動報告書

2019 年度に学習の題材として取り上げている分野 環境 国際理解

2019 年度活動の概要

本校は、「自主・自律・共生」を学校教育目標として、教育活動に取り組んでいる。2019 年度は ESD の中でも「環境教育」と「国際理解教育」に焦点をあてて、学習活動に取り組んできた。

① 3 年生のなし園見学

市川市では梨の栽培が有名である。そんな市川の北部に位置する大野小学校では、年に何回もなし園に見学に行くことができる。なし園見学によって、市の特産品を理解するとともに、土地の利用に気付くことができる。市川のなしが地域の自然環境を守っていることに気付く学習を進めた。

② 地域大野

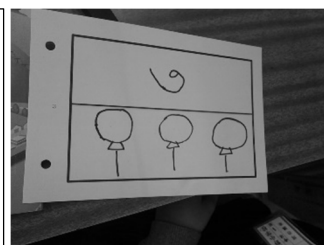
2019 年に 40 周年を迎え、地域と学校の変遷に目を向けた。

昔は深田が広がる農村地帯であったことや、土地改良事業によって区画整理され、調整池もできたことなど、2, 3, 4 年生で学習した。それぞれの学年の実態に合った地域学習や環境教育の中で、大野の歴史を学んだ。また、5 年生は地域で稲作体験を行っている。体験はとも有意義なものである。

③ 大書会

大野小では毎年 6 年生が「大書」を行う。書き初め用紙よりも大きな紙に毛筆で好きな字を書き、それを卒業式に掲示する。普段使う筆とも違う芸術にも似た大書を行うことで、日本の文化を知ることによって国際理解につなげた。

また、今年度は創立 40 周年を迎え、何か記念プロジェクトができないかと考え、教育支援プロジェクトを行った。「認定 NPO 法人 ESA アジア教育支援の会」の教材プロジェクトを全校で行い、教材作成を行った。



2020 年度の活動計画

2019 年度同様、①②③の視点から、ESD 教育を続けていく。また、5 年生の田植え体験も環境教育として取り組んでいく。